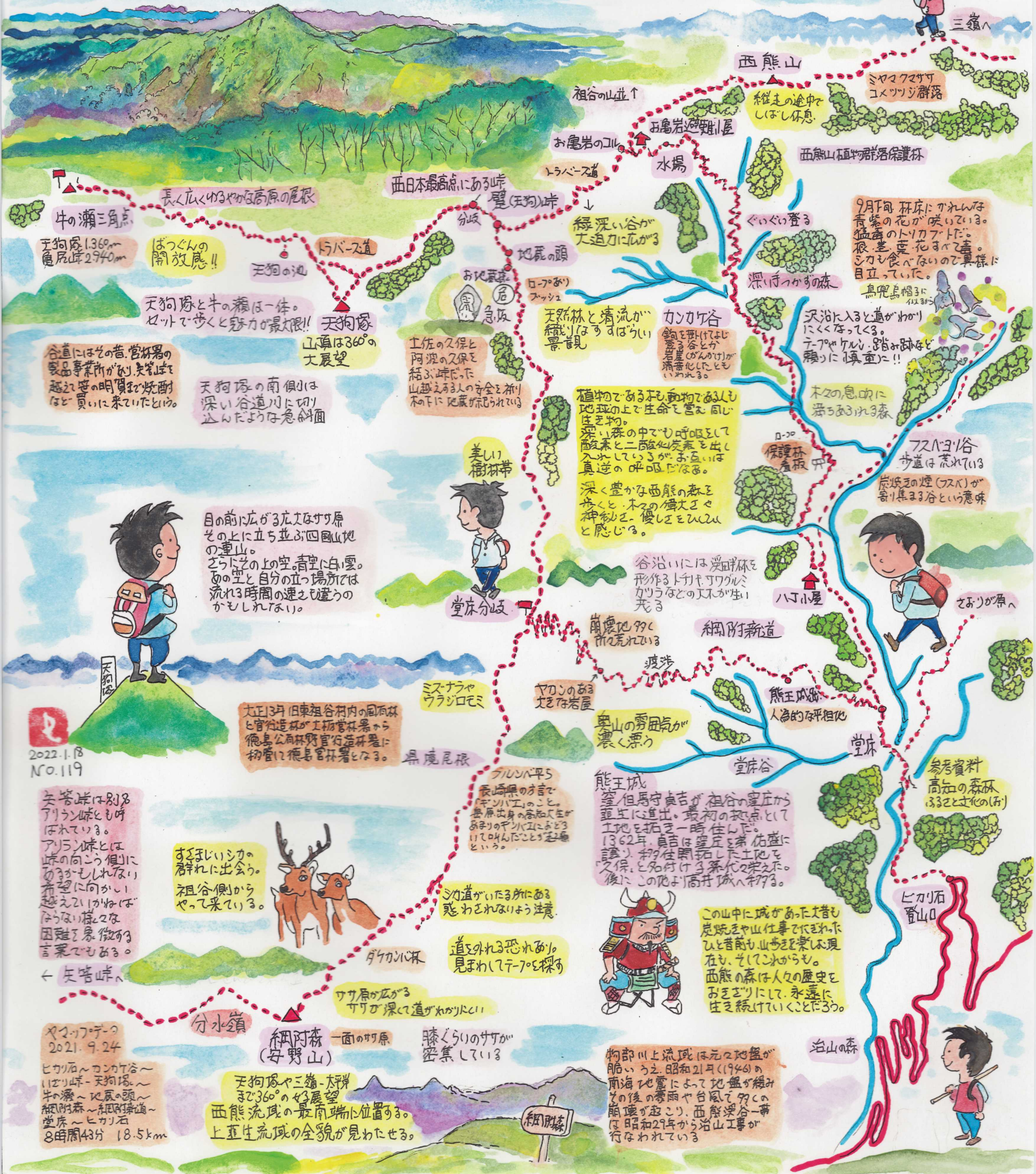


# 天狗塚



三嶺から西に連なる笹原の尾根。その西端に天狗塚がある。ミヤマツツジ群落の中にコメツツジ群落が点在する緩やかな曲線を描く高原に、天を衝くように美しい三角錐の山容がそびえる。四国百名山にも選ばれており、この山域を代表する秀峰である。



牛の瀬三角点  
天狗塚 1,360m  
亀尾峠 2,940m

ばつぐんの開放感!!

天狗塚と牛の瀬は一体。セツで歩くと魅力が最大限!!

合道にはその昔、管林署の製品事業所が取り交わすに越えて密の明買を焼酎など買いに来たという。

天狗塚  
山頂は360°の大展望

天狗塚の南側は深い谷道川に切り込んだような急斜面

西日本最高点にある峠壁(天狗)峠

土佐の久保と阿波の久保を結ぶ峠。山越えする人の安全を祈り木の下に地藏が祀られている

植物であるおもしろ動物であるおもしろ地球の上で生命を営む同じ生き物。深い森の中で呼吸して酸素と二酸化炭素を出し入れしているが、お互い呼吸の呼気は逆になる。深く豊かな西熊の森を歩くと、木の偉大さや神秘さ、優しさを感じ。

カンカケ谷  
鉤を掛けよう谷と谷が岩壁化したところ

9月下旬 林床に咲いている青紫の花が咲いている。猛毒のトリカブト。根茎を食べて毒。シカも食べないので真様に目立っていた。

鳥兜島橋

天沼に入る道がわりになくなって。テフヤケル。踏み跡も頼りに慎重に!!

木の息吹に誘われる森

フスバヨリ谷  
歩道は荒れている炭焼きの煙(フスバ)が寄り集まる谷という意味

目の前に広がる広大な笹原その上に立ち並ぶ四国山地の連山。さらにその上空、青空に白雲。あの空と自分の立つ場所では流れる時間の速さも違うのかもしれない。



堂床分岐

谷沿いには浸り林を形成するトクノサワグルミカツラなどの木が生い茂る

ハジ小屋



せり原へ

2022.1.18 No.119

矢筈峠は別名アリン峠とも呼ばれている。アリン峠とは峠の向こう側にいるかもしれない希望に向かい越えたいか悩まぬない様々な困難を象徴する言葉でもある。

すてきなシカの群れに出会う。祖谷側からやって来ている。



大正13年旧東祖谷村内の国府林と官道造林が土佐管林署から徳島公団林野官庁造林署に初管に徳島管林署となる。

ミスナラヤウラジロミ

ヤカンのある大なる岩屋

熊王城  
人為的な平地

熊王城  
人為的な平地

堂床

参考資料  
高知の森林 332と文化の(お)

熊王城  
室但馬守貞吉が祖谷の室庄から室庄に進出。最初の拠点として土地を拓き一時住んだ。1362年、貞吉は室庄と赤松盛に譲り、初住開拓した土地を久保と知行けり幕代2代之下。後にこの地を高井城へ移す。



この山に城があった昔も炭焼きや山仕事で賑わったと昔も山歩きを楽しまれた。そして今も。西熊の森は人々の歴史をみまもり、永遠に生き続けていくことだろう。

ヒカリ石登山口

2021.9.24

ヒカリ石〜カンカケ谷〜1127峠〜天狗塚〜牛の瀬〜地震の頭〜細野村〜細野新道〜堂床〜ヒカリ石 8時間43分 18.5km

細野村 一面の笹原 膝ぐらりのササが密集している

天狗塚や三嶺-太平洋まで360°の絶景展望  
西熊流域の最南端に位置する。上流流域の全貌が見わたせる。

物部川上流域は元々地盤が脆いうえ、昭和21年(1946)の南海地震によって地盤が緩み、その後の豪雨や台風で99%の崩壊が起こり、西熊流域一帯は昭和29年から治山工事が行なわれている

